

**令和7年度第2回 幸田町地域公共交通会議
議事録**

1 開催日時 令和7年11月28日(金) 15:00~16:15

2 開催場所 幸田町保健センター 2階 視聴覚室

3 出席者

【委員】

区分	職名等	氏名	備考及び代理出席者等
学識経験者	名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 教授	三輪 富生	会長
	名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授	松本 幸正	欠席
交通事業者等	幸田タクシー株式会社 代表取締役	葉賀 玲子	
	株式会社レミックス 代表取締役	池田 広史	
	町内交通事業者 運転手代表 (㈱レミックス)	三浦 節夫	
住民・利用者	幸田町区長会 会長	尾崎 和久	
	幸田町老人クラブ連合会 会長代理	蜂須賀 幹雄	
	幸田町身体障害者福祉協会 会長	加藤 雅敏	
	幸田町手をつなぐ育成会 会長	小山 興建	
	幸田町聴覚障害者福祉協会 会長	高橋 恵子	
行政	国土交通省 中部運支局 愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	原田 光一郎	(代理出席) 小田 春樹
	愛知県都市・交通局交通対策課 担当課長	石屋 義道	(代理出席) 伊藤 智哉
	愛知県 西三河建設事務所 維持管理課長	森 治紀	
	愛知県警察 岡崎警察署 警部補	稻垣 慎吾	欠席
	幸田町 副町長	大竹 広行	

敬称略

【事務局】

職名	氏名	備考
幸田町 企画部 企画政策課 部長	内田 守	
幸田町 企画部 企画政策課 課長	柴田 淳一	
幸田町 企画部 企画政策課 主任主査	足立 庄平	

【幸田町】

職名	氏名	備考
幸田町 企画部 財政課 ●●	足立 泰章	
幸田町 健康福祉部 福祉課 ●●	國實 さくら	

【事務局補助】

職名	氏名	備考
株式会社建設技術研究所	王 茹剛	
株式会社建設技術研究所	木村 拓憲	

4 会議次第

- 1 開会
- 2 協議事項
 - (1) 【第1号議案】えこたんバスの再編（案）について
 - (2) 【第2号議案】今後の検討方針およびスケジュールについて
- 3 報告事項
 - (1) 令和7年度第1回幸田町地域公共交通会議の意見と対応方針
- 4 その他
- 5 閉会

5 資料

- ・資料1 えこたんバス再編ルート案・ダイヤ案のご説明
- ・資料2 ルートの再編に伴う今後の検討方針とスケジュールの説明
- ・資料3 令和7年度第1回幸田町公共交通会議の意見と対応方針

6 議事内容

1 開会
(三輪会長挨拶) 皆様ご存じの通り、公共交通を考えていきましょうという会議で、前回・前々回と広く浅く運行しているえこたんバスを見直しながらチョイソコと組み合わせてより利用しやすくしよう、という議論をこれまで続けてきたところです。今日はより具体的な情報・案が出てくると思いますので、忌憚ないご意見をいただければ幸いです。 それでは、第2回地域公共交通会議を開催させていただきます。よろしくお願ひいたします。
2 協議事項
・事務局より <u>資料1</u> に基づいて【第1号議案】えこたんバスの再編（案）について説明
【質疑等】
委 員：OD調査の結果から乗車・降車ともに0人のバス停が複数存在していますが、OD調査期間8か月のうち、平均利用人数が何人以下を0人としているのか。
事務局：OD調査の実施期間は1週間となっており、その期間に利用が実際に0人であったところを示している。
委 員：利用人数0人のバス停について、OD調査結果に基づいていると思うが、対象の施設が調査期間中の営業の有無は確認しているか。学校の要望を受け、第6便についてルートを変更することだが、学生の利用の多いバス停をチョイソコでカバーとして問題ないか。アンケート結果から、平日・休日で利用の多い施設の要因について分かることがあれば教えてほしい。

事務局：OD調査の実施期間中に施設が営業していない、ということは無いと思っている。ドライバーにもヒアリングも行っており、OD調査結果と齟齬がない、ということだった。学生の利用が多いバス停については、えこたんバスやチョイソコとは別のバスを学校教育課から独自で運行するバスにて対応予定。利用施設の特性については、特定の曜日に特売日を設けていることは把握しているが、要因までは把握していない。

委員：アンケート実施時期から年月が経ち、新たに立地している店舗もあると思うがどのように考えられているか。

事務局：今回のルート検討では直近の施設立地状況による回答は得られていない。えこたんバスルート変更後のモニタリング実施時に対応したい。

委員：本当にこの地域の人がどの地点に行きたくて、どの人が利用したいかというのはこのアンケートからは把握できないと思う。アンケートの取得方法は色々あると思うが、区長会から住民にルート案について周知し、ルートへの要望を集約する方法もあると思う。

事務局：後ほど説明予定だが、今後のスケジュールにおいて各地区への説明を予定している。

委員：区長が理解して町民の意見を集約するという仕組みになっていると思っている。ルート変更したらそれで終わり、ということではなく定期的に意見を集約・反映させていくようになることが重要と思う。

事務局：学区単位で区長に説明する、などやり方は検討したい。

委員：利用の多い施設に関するアンケート結果について、町外の施設はどのような考え方で対象外としているのか。

事務局：えこたんバスは町内の方に利用いただく、という考えに基づいて運行している。町外にはJRや自家用車などで移動いただきたい、と思っている。一方で周辺市町との接続性は考えたい、と思っている。えこたんバスルートで一部蒲郡市まで接続するルートや西尾市と協議のうえ、チョイソコの停留所設置を行う。また、岡崎市とも乗合ができないか協議している。

・第1号議案の承認

・事務局より資料2に基づいて【第2号議案】今後の検討方針およびスケジュールについて説明

委員：チョイソコの運行拡大の後にえこたんバスルート変更する、という予定について、カバーランプを考慮していることは分かるが、ルート確定したら運行させた方が良いのではないか。半年ほど運行してみて結果のフィードバックにより再度ルートの検討をしてはいかがか。利便性向上により利用増加も考えられると思う。

事務局：えこたんバスの運行範囲縮小に伴い、チョイソコの運行範囲拡大という体制が整わない住民の理解を得られない、と考えている。いただいたご意見を踏まえ、えこたんバスルート変更を先に行うかどうか検討する。

委員：R8年度にこの検討に基づいたルート変更はよいと思うが、見直しをいつ行うかが非常に重要と思う。坂崎や大草など今回の再編によりルートから外れた地域の反応はよくない、と思う。さらにチョイソコの有償化についても坂崎や大草はチョイソコが運行していない地域なので抵抗感があると思う。この会議を続けて、利用状況の数字を整理し、金額的にも見直しを行っていただきたい。

事務局：この変更についてマイナスに捉えられる方もいらっしゃると思っておりますので、見直しについては運行後も検討したい。各地区の方には今後説明を行う予定なので、その中でいただいた意見を適宜検討したい。

委員：バスの利用を考えたときに、えこたんバスカード、チョイソコカードのようなものを作成し、例えば、利用方法、時間、ルートを確認できるような仕組みがあれば利用しやすくなると思う。バス停があることは把握しているが、離れた位置にあるバス停まで行こうと

いう気持ちが出るような方法を工夫してほしい。

事務局：えこたんバスについて、走行位置が分かるようなシステムの開発を進めており、スマホや役場に設置しているサイネージで確認ができるようにする予定。前回の会議でいただいたご意見に関して、各ルートの名称は現在検討中。えこたんバスの車内に次のバス停、現在の走行位置を示すサイネージに表示を検討している。

委員：チョイソコに関して、有償化および運行区域の拡大により、タクシーと近しいイメージになると思うので、タクシーへの影響がどの程度あるのかということも検討いただきたい。スケジュール表に記載されている文言が「一般乗用旅客自動車運送業」となっているが、「一般乗合旅客自動車運送事業」になると思うので今後修正いただきたい。他市町の事例として安城市のかりまるを紹介いただいたが、有償検討を行っているので参考にしていただきたい。チョイソコの運行台数が3台に拡大、利用条件の撤廃を予定されているが、えこたんバスの再編との兼ね合いもあると思うが、住民の不利益となることが少なくなるよう留意いただきたい。

事務局：チョイソコと交通事業者ともに盛り上げていけるよう努めたい。また、チョイソコについては形態が変わるので、丁寧な説明を心掛けたい。この公共交通会議に出席いただきているみなさんにもお力をいただきたい。

委員：チョイソコについて、運行主体が公共交通会議に変更となることだが、チョイソコの今後の計画について教えてほしい。

事務局：車両の確保が現状困難という実態がある。次回の公共交通会議で説明予定だが、幸田町で車両の確保ができるよう、いま議案として挙げさせていただいているところがある。次回の公共交通会議では、料金、形態について議論いただく機会を設けたいと考えている。

委員：来年の10月にはチョイソコの利用方法など含め改善はあるのか。スマホが使えない高齢者が気軽にチョイソコを利用できるようにすると非常に便利になると思う。

委員：スケジュール表ではチョイソコの台数の拡大や、チョイソコ利用方法について分からないので、次回の会議では説明いただきたい。

事務局：ネット予約は可能となっているが、利用いただいている方やご存じの方はまだまだ少ない。地元説明の際にフォローしたいと考えている。

・第2号議案の承認

3 報告事項

・事務局より資料3に基づいて報告事項について説明

4 閉会

事務局：三輪会長、円滑に会議を進行していただき、ありがとうございました。委員の皆様におかれましても、慎重に御審議いただきまして、誠にありがとうございました。最後に事務局長である企画部長の内田より、終わりの挨拶をさせていただきます。

事務局長：本日は大変お忙しい中、幸田町地域公共交通会議に御出席いただきましてありがとうございました。また、熱心にご協議いただきまして、大変参考になるご意見をありがとうございました。公共交通の中の特にバス、チョイソコについてどのように利用していくのかが難しい部分があると考えておりますので、利用のハードルが下がるように周知もしっかりとていきたいと思います。現状、えこたんバスの使い方が難しいこともありますので、次の停留所がどこか、現在の運行場所も加えながら、なるべく使いやすい形を目指していくかと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。次回は3月に第3回地域公共交通会議を予定しておりますのでよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。

事務局：内田事務局長、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、令和7年度第2回幸田町地域公共交通会議を閉じさせていただきます。皆様、本日は大変お忙しい中、ありがとうございました。これにて散会とさせていただきます。お疲れ様でございました。

以上